



2021年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月14日

上場会社名 株式会社ピザスク

上場取引所 東

コード番号 4490 URL <https://visasq.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 端羽 英子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 安岡 徹

TEL 050-3733-8513

四半期報告書提出予定日 2020年7月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第1四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	304	45.4	7	62.8	2	87.8	2	85.4
2020年2月期第1四半期	209	212.4	20	132.6	19	130.8	15	81.6

(注) 包括利益 2021年2月期第1四半期 2百万円 (85.0%) 2020年2月期第1四半期 15百万円 (81.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	0.27	0.25
2020年2月期第1四半期	2.01	

(注) 1. 当社は、第8期第1四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、第8期連結会計年度に代えて、第8期事業年度について記載しております。

(注) 2. 2019年8月9日開催の取締役会決議により、2019年8月30日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

(注) 3. 第8期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

(注) 4. 当社は、2020年3月10日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、第9期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から第9期第1四半期連結累計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第1四半期	1,369	801	58.4
2020年2月期	648	99	15.3

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 800百万円 2020年2月期 99百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		0.00		0.00	0.00
2021年2月期					
2021年2月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,400	42.3	55	23.1	48	16.1	36	31.9	4.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想については、本日(2020年7月14日)に公表いたしました「業績予想の公表に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) VISASQ SINGAPORE PTE. LTD. 、 除外 社 (社名)

当第1四半期連結会計期間に、VISASQ SINGAPORE PTE.LTD.を新規設立したため、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年2月期1Q	8,606,150 株	2020年2月期	7,685,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年2月期1Q	20 株	2020年2月期	0 株
------------	------	----------	-----

期中平均株式数(四半期累計)

2021年2月期1Q	8,448,587 株	2020年2月期1Q	7,685,000 株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 2. 2019年8月9日開催の取締役会決議により、2019年8月30日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の急速な拡大と、その対策に伴い経済活動の縮小が生じ、厳しい経済環境となりました。

当社グループが属する情報・サービス系の産業においては、企業向けのサービスを中心に業況の著しい悪化には至っておりませんが、経済活動全般の縮小に伴い取引需要そのものが減退する状況となりました。BtoB情報プラットフォーム市場の売上高規模は、2020年1月～4月の合計で1,218億円(前年同期比2%増加)となり、成長しております(経済産業省「特定サービス産業動態統計調査(2019年12月公表)」の「データベース」及び「各種調査」を合計)。

このような状況の下、当第1四半期連結会計期間における知見プラットフォーム事業は、一部で新型コロナウイルス感染症による影響を受けたものの、法人クライアント口座数の増加により堅調な成長を維持しました。特に、フルサポート形式のスポットコンサル設営サービス「ビザスクinterview」においては、積極的なマーケティング施策により国内事業法人および海外顧客の拡大が寄与しました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末時点で国内登録者数(注)は約9.6万人を超え、また、当第1四半期連結累計期間における当社のアレンジしたフルサポート形式のスポットコンサルによる知見提供取引の件数(「ビザスクinterview」のみ)は約3.7千件となり、取扱高は知見プラットフォーム事業全体で482百万円(前年同期比41%増加)となりました。

また、当第1四半期連結累計期間における営業収益は304,852千円、営業利益7,560千円、経常利益2,391千円、親会社株主に帰属する四半期純利益2,254千円となりました。

なお、当社は知見プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(注)「国内登録者数」は、当社日本語webサイトにて登録をした人数の合計であります。国内登録者は、知見を提供する個人(アドバイザー)と、これを求める個人(「ビザスクlite」における依頼者。また、「ビザスクlite」を活用するための契約を締結した法人に所属し、当該契約に基づき登録された個人を含む。)に分かれております。いずれの登録者もアドバイザーとしてフルサポート形式「ビザスク」及びセルフマッチング形式「ビザスクlite」で活動することができ、また、依頼者として「ビザスクlite」を利用することができます。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は1,369,626千円となり、前事業年度末より721,410千円増加しました。これは主に、2020年3月に当社株式を上場した際に行った公募増資及び事業規模の拡大により現金及び預金等が増加したことにより流動資産合計が708,053千円増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は568,455千円となり、前事業年度末より19,911千円増加しました。これは主に、事業規模の拡大により法人クライアントから収受する前受金が増加したこと等により流動負債合計が19,911千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は801,170千円となり、前事業年度末より701,498千円増加しました。これは当第1四半期連結累計期間に四半期純利益2,254千円を計上したことのほか、2020年3月に当社株式を上場した際に行った公募増資によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2020年4月14日において、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の対応の一環としてリモートワークの推奨等が行われているなか、「ビザスクinterview」(フルサポート形式のスポットコンサル設営サービス)や「ビザスクproject」(顧客の新規事業創出支援サービス)においては、顧客側の活動スピードの低下や経済活動の縮小等により一定の影響があるものと考え、また国内外の経済全体に影響する広範な危機管理対応が実施または想定されていたことから、これらの対応が当社の2021年2月期の業績に与える影響の適正かつ合理的な予測は非常に困難であるとして、同業績予想については未定とし、合理的に予測可能となった時点で公表するとしておりました。

その後、2020年5月25日に緊急事態宣言が全国的に解除されて一定の期間を経て、当社の業績に与える影響の予測も合理的に可能と考えられるにいたり、2021年2月期の業績予想を公表いたします。

今後の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症により、景気の見通しは極めて厳しいものにあると考えられます。一方で、当社の顧客における研究開発や新規事業開発への活動は、この苦境を克服するため、引き続き活

発に行われております。また、当社といたしましても、引き続き取扱高の拡大のために様々な施策を展開してまいります。具体的には、SNS広告やオンラインセミナー等を通じた積極的なマーケティング活動により事業法人の顧客層拡大を狙いつつ、コンサルティング企業や金融法人については、新規顧客獲得活動の継続と、顧客内におけるサービス浸透度を高めるための提案活動を継続してまいります。また、2020年4月にはシンガポール共和国に完全子会社を設立しており、グローバルなサービス展開を更に加速させてまいります。このほか、「ビザスク expert survey」の積極的な拡販や、web上のマッチングプラットフォーム「ビザスクlite」におけるUI/UXの改善を継続して行います。

このような状況から、通期の連結業績予想につきましては、取扱高は2,250百万円、営業収益は1,400百万円を予想しております。損益面においては、人材の採用、マーケティング施策、シンガポール子会社の投資等を積極的に行うことにより、営業利益は55百万円と見込んでおり、経常利益は48百万円、純利益は36百万円と予想しております。

(個別)

業況については、上記と同等となります。営業収益は1,400百万円、営業利益53百万円、経常利益は44百万円、純利益は32百万円と予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,009,583
売掛金	210,950
その他	47,278
流動資産合計	1,267,813
固定資産	
有形固定資産	29,822
投資その他の資産	71,990
固定資産合計	101,813
資産合計	1,369,626
負債の部	
流動負債	
買掛金	56,955
1年内返済予定の長期借入金	6,941
未払金	62,704
前受金	197,913
その他	53,941
流動負債合計	378,455
固定負債	
長期借入金	190,000
固定負債合計	190,000
負債合計	568,455
純資産の部	
株主資本	
資本金	370,260
資本剰余金	347,630
利益剰余金	82,615
自己株式	△27
株主資本合計	800,478
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	63
その他の包括利益累計額合計	63
新株予約権	629
純資産合計	801,170
負債純資産合計	1,369,626

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
営業収益	304,852
営業費用	
役員報酬	12,558
給料及び手当	136,110
その他	148,622
営業費用合計	297,291
営業利益	7,560
営業外収益	
受取利息	1
営業外収益合計	1
営業外費用	
支払利息	2,156
為替差損	1,030
上場関連費用	1,983
営業外費用合計	5,170
経常利益	2,391
税金等調整前四半期純利益	2,391
法人税、住民税及び事業税	132
法人税等調整額	4
法人税等合計	136
四半期純利益	2,254
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,254

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	2,254
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	63
その他の包括利益合計	63
四半期包括利益	2,317
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	2,317
非支配株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用範囲の変更に関する注記)

当第1四半期連結会計期間に、VISASQ SINGAPORE PTE. LTD. を新規設立したため、同社を連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年3月10日をもって東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場に当たり、2020年3月9日を払込期日とする公募(ブックビルディング方式による募集)による新規株式の発行500,000株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ346,875千円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間における新株予約権の行使による新株の発行を含めて、当第1四半期連結会計期間末において資本金が370,260千円、資本剰余金が347,630千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

当社は、知見プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。